

令和6年7月31日総合計画審議会専門部会 B-4

参加者：桜井委員 佐藤（渉）委員 高橋（広）委員 高橋（圭）委員

欠席者：須崎委員

ファシリ：平岡さん 板書：前田

①国際・地域間交流の推進

《質問》

委員

トレーシー市交流協会の人々が専門部会のメンバーに入らなくてもよいのか。

事務局

持ち帰って検討します。

西田魅力創造課長

トレーシー市交流協会とは、過去にトレーシー市に小学生派遣した親御さんなどが在籍しており、29名ほどいる

《評価》

委員

妥当 コロナ禍の中推進していると思う。

委員

妥当 ふるさと交流センターではトレーシー交流も売りの1つとなっている。小学生を派遣したらトレーシー側の受入も必要なので大変だが、頑張って受け入れる。

委員

妥当 特になし。

委員

妥当 新たなPRと書かれているが、こういったことやられていたのか。

西田魅力創造課長

過去は小学生交流と物販交流だけだったが、その先に繋がること（民間交流や事業者交流）を見据えて実施している。例えば揖斐川町へ派遣された子供達は11月の収穫感謝祭で揖斐川町の物販手伝いを行っている。

委員

広尾町との交流があるなら、収穫感謝祭で売りに来てほしい。

西田魅力創造課長

広尾町側にルールがあって難しいのが本音。何で愛菜屋の物販で厚岸町があって広尾町が無いのかという意見は分かる。

委員

昔声かけてやった経緯はあるみたい。

西田魅力創造課長

今後の意見として参考とする。

《今後の取り組みに対する意見》

委員

広尾町に働きかけてほしい。

委員

マネジメントシートの中に台湾と友好都市を検討とあるが、締結こだわらなくても生産者が現地行けばたくさん刺激になると思うが如何か。

委員

同意見である。トレーシー市以外では台湾もいいのではないかと考えていた。現在道内で台湾と友好連携協定を締結している市町村が13か所あって、うち9か所は2年以内に締結している。市町村レベルで締結は可能。親日であり、実際東日本大震災にお金と人材派遣いただいていた恩もある。また、温暖な台湾は雪降らないので、嵐山絡めて観光推進もどうだろうか。

委員

台東・墨田区はうまく実施できていると感じる。前述のとおり広尾ともう少しくま事業を実施してほしい。うみやま大戦（スポーツ交流）とかどうか。物販だけではなく人材交流もいいのでは。町民としては広尾と交流していることがあまりピンと来ていない。PRできていないのでは。

西田魅力創造課長 台湾はセンシティブな部分もあるので、慎重に協議していきたい。また芽室町側のニーズと台湾のニーズが合致しているか確認する。友好連携協定締結が無くて

も、独自のコネクションがあるので今後も継続協議していきたいと思う。

②地域資源を活用した観光の振興

《質問》

委員

帯広市と隣町の有利性を生かして、帯広と連携するものはないのか。

西田魅力創造課長

現在日高山脈との連携で観光協議会を行っている。また広域観光連携で補助金もあるので進めていきたい。最近の旅行ニーズが団体から個人になっている。海外の方も、ニセコに少し飽きており、富良野などに流れていると聞くと、複数日はいないので、そのうち1日は十勝に来てもらえるよう目指していきたい。

委員

芽室町に宿泊宿が少ない。嵐山あれば…と思う。がんばってほしい。事業費 268,664 千円のうちなが多いのか。

西田魅力創造課長

ほとんどふるさと納税。収入 4.5 億の半分は経費となるため。

藤村魅力発信係主査

以前十勝川温泉から打診があって、海外客が多くなってきたため、プランの一部として嵐山を利用できないか、周遊できないとあった。今後も連絡を取って可能性を広げていきたい。

西田魅力創造課長

日高山脈は険しいので山登りなどの観光はむずかしい。景観を見ながらなにかできるツアー検討中。(バイク周遊、フォトスポット、展望台など)あと、今後はガイドが必要なので育成している。それにより付加価値を狙っている。

委員

もともと登山口もあるし(伏美岳)、登山向けの整備も必要なのでは。新設でなくていいので再整備でよい。また、嵐山に宿泊施設が必要か検討すべき。宿泊施設を再開してもまた同じ繰り返しになりそう。計画はしっかりたててほしい。

藤村魅力発信係主査

今年策定する。骨格内ではニーズに沿って検討するとなっている。ネックは大人数での宿泊。

現代のニーズではないものの、今後どうなるか分からない。宿泊ありきではない。

《評価》

委員

妥当 期待を込めて。

委員

妥当 体を大事に。

委員

妥当 今後の嵐山について話したときに郷土愛を感じたのでうまく進むと信じて。

委員

妥当 本当は上げてあげたいけどしょうがない。

《今後の取り組みに対する意見》

委員

伏美岳整備。

委員

ガイドの資格を取得しているが、芽室町で目玉になるものがない。ガイドの資格者が額で並んでいたのもそれもいいのではないかと。また、町民はインバウンドを求めているのか気になる。町民は変な人には来てほしくないという思いもあるかと。町民が求めているか確認する必要がある。

委員 頂上からの絶景は推したい。頂上に料理を運んで景色を見ながら食事してもらうなど色々試してみたらどうか。(ドローンで運ぶなど)コストかけずにチャレンジしてほしい。また、社会貢献団体に嵐山の現状を説明して、アイデア募集したらどうか。

委員

嵐山について頑張ってもらいたい。

西田魅力創造課長

上水道がないので大変。道路狭いもネック。

藤村魅力発信係主査

展望台までの林道が大変。なので、夏のリフトを検討の余地ある。

③シティプロモーションの推進

《質問》

なし。

《評価》

委員

妥当 ビジョンマップできてから進んでいるか気になる。もっと町民に理解してもらえる仕組みを。

委員

妥当 住民は郷土愛あるし、魅力的な街だと思う。町の魅力はずっと住んでいる人は気づいていないのではないかと感じる。

委員

妥当 上美生で町外の方は定着しているのか。

委員

そのまま親子で住んでいる方もいる。

西田魅力創造課長

担当部署が違うが、山村留学も移住定住のポイントと感じている。移住フェアでは山村留学事務局の方も連れて行っているが、多く興味を持たれる。

委員

妥当 取組の理解が不足しているが。指標が町民側の指標ばかりで、町外側の指標がない。そのような評価があってもいいのでは。

西田魅力創造課長

町外の指標がないのはそう思う。社会人口増の指標はあってもいい。

《今後の取り組みに対する意見》

委員

町外に向けた発信はなにがあるのか？

西田魅力創造課長

食の魅力発信事業（都内シェフのオリジナルレシピ作成→ふるさと納税）や、PR番組作成。台東区墨田区連携（物販・住民交流）。私たちとしては、発信活動をしていること自体を伝えきれていないのが課題と感じているので、今後は進めていきたい。

委員

これからの世代に意見を伺うという意味で、芽室高校生の意見聞くのもいいのではないか。

西田魅力創造課長

現在白樺学園が町の取組に協力してもらっており、街づくりについて計画的に授業していただいている。芽室高校は道立なので難しい面がある。今後は若い人の町づくりを考えている。ムムクリ等の高校生発信イベントを実施することで高校生達が「私たちでもまちづくりできる」と気づけるし、視野が広がる。今後は小中から町づくりの参加を実施していきたい。

委員

定員割れの地域の子たちは地域留学が行われているが、芽室はない。個人的には山村留学の子は芽室高校までエスカレーターで進学できればいいと思う。

委員

ビジョンマップの見解を。

西田魅力創造課長

具現化や郷土愛醸成を行っているなか、今ある資源を活用してにぎやかなまちを作りたいと思っている。地域おこし協力隊を新たに雇用し、空き家をどうするかを進めていくし、総合的に進めていくように動いている。